

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……………購入時の取得価額による。
- (2) 固定資産等の減価償却の方法
什器備品、無形固定資産……………定額法による。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	39,600,000	0	5,600,000	34,000,000
投資有価証券	1,852,400,000	5,600,000	0	1,858,000,000
合 計	1,892,000,000	5,600,000	5,600,000	1,892,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)
基本財産			
定期預金	34,000,000	(34,000,000)	—
投資有価証券	1,858,000,000	(1,858,000,000)	—
合 計	1,892,000,000	(1,892,000,000)	—

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
投資有価証券(ユーロ円債)	1,758,000,000	1,717,715,200	△40,284,800
投資有価証券(社債)	100,000,000	99,940,000	△60,000
合 計	1,858,000,000	1,817,655,200	△40,344,800

(※)上記時価は、みずほ証券の資料により算出。